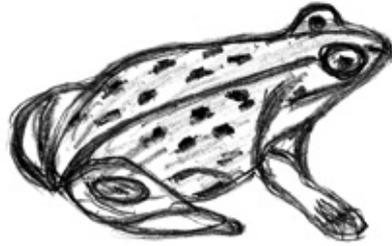


みんなの童話

あま蛙の兄弟



「どつかおかあさんにあえますように」
と神さまにお祈りしました。

さつちゃんは、たあくんと、あまちゃんが、いなくなつてから、さみしくて、さみしくてたまりません。お庭には今も、あじさいの花は咲いています。

何日が過ぎたある日のこと、『ケロケロケロ』と、大合唱が聞こえてきました。少し雨がふる中からです。庭のあじさいの木の下に、数えきれないほど、あまがえるが集まって、合唱をしていました。さつちゃんも、あわてて、家に入ると、ピアノをたたいて、かえるの歌をうたいました。

かえるのうたが

聞こえてくるよ

ケロケロケロケロ

クワクワカア

きつと兄弟かえるは、おかあさんに、あえたでしょう。

あまちゃんや、たあくんや、さつちゃんの大合唱が、いつまでもつづきました。

しるやま会員 中川かなめ

さつちゃんは、小さくうなずくと、かえるをさつちゃんの、手の平にのせました。そのとき、

お兄ちゃんかえるも出てきて、さつちゃんの手の平に、弟かえると並んで、のりました。

さつちゃんは、かわいい二匹に名前をつけました。大きいかえるは「たあくん」小さいかえるは、「あまちゃん」

たあくんと、あまちゃんは、まじい日、あじさいの花のかげであそんでいます。でも、ときどき、さみしそうにして、さつちゃんのママを見ているのです。

さつちゃんは思いました。保育園の帰り道で、たあくんと、あまちゃんだけをつれてきたが、兄弟かえるの、おかあさんのことを、思つたことも、なかつたのです。

たあくんも、あまちゃんも、さみしいだろうと思いました。それでさつちゃんは、私が、あまちゃんたちの、ママになつてあげようと思いました。

「あまちゃん、ママがあそんであげるから」

さつちゃんが手を出すと、あま

さつちゃんの家の庭に、あじさいの花が咲きました。赤と白とむらさきの、まんまるく、ボールみたいです。お日さまの方を見て、うれしそうに、咲いています。さつちゃんが、お花を見てみると、葉っぱのうらに、二ひきのあまがえるが、かくれていました。

「かえるさん、かくれんぼしているの」

さつちゃんの声に、すこし大きいかえるは、かくれてしまいました。だが、小さいかえるは、さつちゃんを見て、

「そうだ・・・あの時、ぼくたちをつかまえて、ここへつれて来た、おねえちゃんだったね」